

このまちの見る夢が、わたしの夢です。



遠賀川開き 飯塚納涼花火大会

1922(大正11年)年から続く、飯塚納涼花火大会が今年も盛大に開催されます。毎年9万人が訪れる恒例の花火大会。ナイアガラの滝を始め、大規模な仕掛花火が夜空に咲きます。会場周辺には露店がたくさん並んで賑わいをみせます。約6,000発の花火をぜひご堪能ください。今年は、2016年8月3日(水)に開催予定となっています。

CONTENTS

ごあいさつ	2	営業のご案内	17	地域経済活性化への取り組み	29
企業理念・主要な事業の内容	3	投資信託のご案内	21	地域とのふれあい&トピックス	30
組織	5	手数料のご案内	23	資料編	44
総代会	7	年金相談会のご案内	25	パーゼルIII	67
信金中央金庫・クローバーしんきんグループ	10	サービスのご案内	26	あゆみ	75
リスク管理体制	11	電子記録債権サービスのご案内	27	索引	76
お客さまの保護について	13	中小企業の経営支援に関する取り組み	28	店舗のご案内	77



ごあいさつ

皆さまには、平素より飯塚信用金庫に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年度も「いいしん」のディスクロージャー誌を作成いたしました。是非ご一読いただき、「いいしん」の経営内容や事業活動についてご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

平成27年度の我が国の経済は、アベノミクス効果により年末にかけて円安と株高が持続したことによって、大企業を中心として企業収益が堅調に推移し穏やかな回復基調がみられました。しかし、中国経済の成長減速を一因とする資源安によってロシアなど資源国の経済の先行きが不透明なものとなりました。さらに、中東の混迷によるヨーロッパの難民問題など不安材料が強まり、その解決に当該諸国は苦慮している状況です。年明けの1月に入り、日銀は、景気の好循環を確かなものとするために、一層の金融緩和を進め、マイナス金利政策を実施しましたが、株価は一段と低下し、為替も円高に振れるなど先行きの見通しがさらに混迷する情勢となっています。

一方、地域経済においても、高齢化や人口減少、空き店舗の増加など構造的な課題を抱えており、中小企業の多くは、いまだに業況の改善に至っていないのが現状です。政府は、地方が人口減少を克服し将来に亘って活力のある社会を実現するために「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定し、具体的な施策が進められることとなっております。このような状況のもと、地元では飯塚バスターミナルが建替えにより新築開業し、また、大丸跡地再生事業も竣工し運営が開始されています。当金庫においても「地域創生推進グループ」を創設し、創業支援・経営改善など積極的な金融機能の発揮により地域の活性化に向けて取り組んでおります。

また、地域貢献活動といたしまして「いいしん雑のまつり」「全店餅つき会」「いいしんロビーコンサート」「いいしん中心市街地清掃活動」など、各種イベントの開催により地域の皆さまと交流を図っております。さらに、市民団体が主催する「飯塚国際車いすテニス大会」「飯塚新人音楽コンクール」などへの支援、地元小中学校への図書カードの寄贈、金融出前授業などの教育文化事業にも寄与いたしております。

平成28年度は第三次いいしん中期事業計画の最終年度です。その目標必達に向けて「いいしん」は地域金融機関としての社会的使命を果たし、「飯塚信用金庫」ならではの独自性の発揮と健全経営に徹し、地元の皆さまに信頼され親しまれる信用金庫として、その使命を全うすべく役員員一同全力を傾注してまいり所存でございます。

理事長 緒方 隆博